

沖縄県地域がん登録～がん対策に役立ってます！～

死因第1位のがん

がんは、我が国では1981年から、沖縄県においては1977年から死亡原因の第1位であり、年々増加しています(図1)。そこで、がん対策の一層の充実を図るため、2006年に「がん対策基本法」が施行されました。これを受けて沖縄県では「沖縄県がん対策推進計画」を策定し、がん対策を総合的かつ計画的に推進しています。

地域がん登録って何?

がん対策を計画し効果的に行うためには、がんの実態を正確に把握する必要があります。がんて亡くなる人はどのくらいか?(死亡率)、がんにかかる人はどのくらいか?(罹患率)、がんと診断されて、その後生存している人はどのくらいか?(生存率)等のがんに関する情報を集めるため、沖縄県では地域がん登録を行っており、当研究所企画管理班に中央登録室が設置されています(図2)。

情報は主に、医療機関の協力で届けられた登録票(がんの診断・治療方法)と人口動態統計における死亡小票(死亡原因)から収集します。がん患者によっては複数の病院を受診したり、複数のがんに罹患したりします。また登録票の届出漏れもあります。このため、情報の重複や漏れを整理して1患者1腫瘍1件に集約する作業を行います。こうして情報を集計・分析し、がん対策に役立てるための手段が地域がん登録です。2011年4月現在、39道府県1市で実施されています。

標準データベースシステムの導入

沖縄県では1988年からがん登録を開始し、県内のがんの罹患の実態を調査してきました(図3)。2009年には全国基準の「地域がん登録標準データベースシステム」を導入しました。また医療機関内で行われている院内がん登録の推進によって、医療機関からの登録票の届出が増加しており、今後登録精度が向上すると、全国や他の自治体との比較がより正確になることが期待できます。

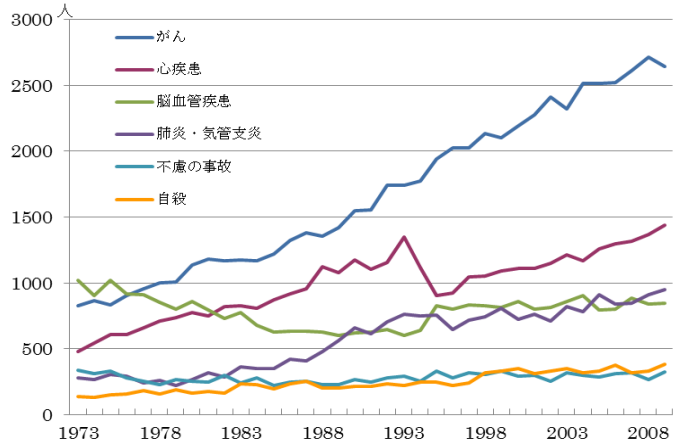


図1. 沖縄県における主要死因別死亡者数

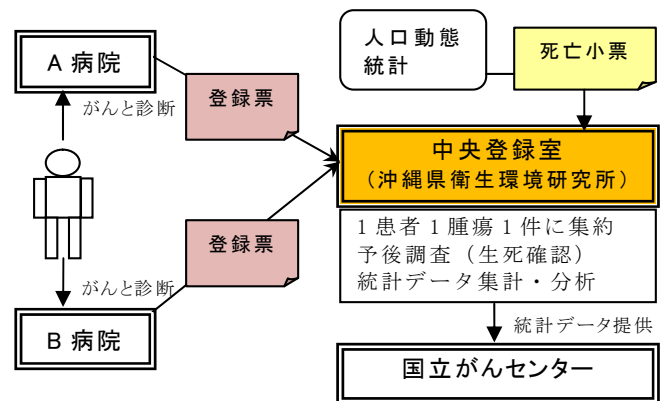


図2. 地域がん登録の仕組み

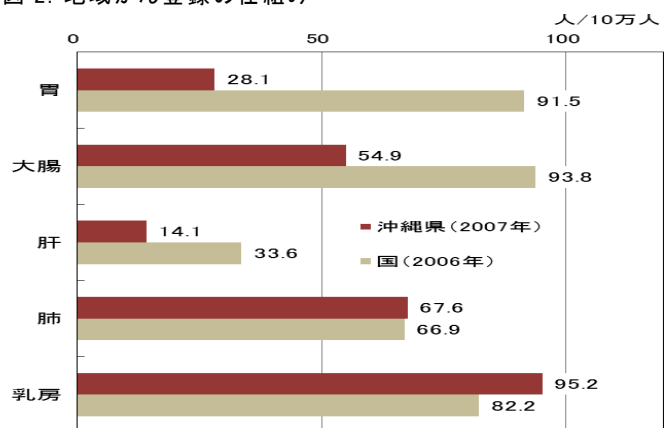


図3. 部位別にみたがんの人口10万人あたりの罹患率

がんについて、もっと知りたい!

- ・がん情報サービス <http://ganjoho.ncc.go.jp/>
- ・沖縄県がん予防対策 <http://oki-ganyobo.com/>

【企画管理班】